

## 太平洋戦争

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

平成

## 今日の問い

日本はなぜアメリカなどとの戦争に進み、戦いはどう変わっていったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

## 1 太平洋戦争の始まり

開戦へ

**ABCD包囲網**

米・英・中・蘭による日本の包囲を、日本が呼んだ言葉。

**東条英機**

1941年10月に内閣をつくった軍人の首相。

**太平洋戦争**

1941年12月に始まった、日本と連合国との戦争。

1941年7月、日本が南の資源を求めてフランス領インドシナ南部に軍を進めると、アメリカは日本への石油の輸出を禁止し、イギリスやオランダも日本との貿易を制限した。日本は、戦っている中国を加えたこれらの国々による包囲を**ABCD包囲網**(ABCD包囲陣とも)と呼んだ。石油をほとんど輸入にたよっていた日本は、大きな危機に立たされた。

日米は交渉を続けたが、アメリカは中国やインドシナからの日本軍の引きあげなどを求め(ハル=ノート)、交渉は行きづまった。1941年10月、陸軍出身の**東条英機**が首相となり、12月8日、日本軍はイギリス領のマレー半島に上陸し、ハワイの**真珠湾**にあるアメリカ海軍基地を奇襲して、**太平洋戦争**が始まった。日本は、日中戦争とあわせて「大東亜戦争」と呼んだ。今日では、アジア・太平洋戦争と呼ぶこともある。

南部仏印進駐  
1941年7月

石油の輸出禁止  
ABCD包囲網

ハル=ノート  
交渉が行きづまる

真珠湾攻撃  
1941年12月8日

## 2 戦況の悪化

敗色のなかで

**ミッドウェー海戦**

1942年、日本が主力の空母を多く失った戦い。

**サイパン島**

1944年に陥落し、日本本土の空襲が可能になった島。

**ノルマンディー上陸作戦**

1944年、連合軍がフランスに上陸した作戦。

開戦の直後、日本軍は東南アジアや太平洋の各地を占領した。しかし1942年6月の**ミッドウェー海戦**で主力の空母を多く失ってから、アメリカ軍の反撃が強まった。1943年には南太平洋のガダルカナル島から撤退し、物資や船が足りなくなって、各地の島で日本軍は孤立していった。1944年には**サイパン島**が陥落し、ここを基地にした爆撃機が日本本土を空襲できるようになった。責任をとって東条内閣は総辞職した。

ヨーロッパでは、1943年にイタリアが降伏し、1944年に連合軍が**ノルマンディー上陸作戦**でフランスに上陸した。連合軍に攻められたドイツは、1945年5月に降伏した。こうして日本は、ただ一国で戦いを続けることになった。

日本は「大東亜共栄圏」をかかげ、占領した地域で石油などの資源を確保しようとした。しかし現地の人々に日本語の使用や労働を強いたため、各地で反発を受けた。

## 問いへの答え

日本の南部仏印進駐に対し、アメリカは石油の輸出を禁止し、日本はABCD包囲網と呼んで危機感を強めた。交渉もまとまらないまま、1941年12月に真珠湾を奇襲して太平洋戦争が始まった。1942年のミッドウェー海戦で主力の空母を失うと戦況は悪化し、1944年のサイパン島陥落で本土空襲が可能になり、1945年にはドイツも降伏した。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

